

景況調査

(平成27年10月～12月期)

平成27年10月～12月期の山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成27年10月～12月期の調査結果では、売上高、業況、採算、資金繰りの主要4指標全て前回調査より数値が低下した。

〈業況〉

業況DIは▲14.3で前回調査の▲13.8から0.5ポイント低下した。業種別では、小売業0.0(前回調査比+16.7)、製造業8.3(前回調査比+8.3)、建設業0.0(前回調査比+10.0)、サービス業▲47.1(前回調査比▲8.2)、卸売業▲40.0(前回調査比▲40.0)と小売業、製造業が上昇した。1月～3月期見通しは全体で▲30.0であり、見通しは明るくない。

〈売上高〉

売上高DIは▲25.4で前回調査より8.5ポイント低下した。業種別では、小売業▲27.8(前回調査比▲4.7)、製造業8.3(前回調査比+25.0)、建設業▲9.1(前回調査比▲19.1)、サービス業▲47.1(前回調査比▲19.3)、卸売業▲60.0(前回調査比▲43.3)であり、製造業の上昇とそれ以外の低下が目立つ。1月～3月期見通しは全体で▲29.0となっており、微減の様相である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲21.7で前回調査より5.9ポイント低下した。業種別では、小売業▲22.2(前回調査比+16.3)、製造業▲18.2(前回調査比▲9.1)、建設業▲20.0(前回調査比▲31.1)、サービス業▲25.0(前回調査比▲2.8)、卸売業▲20.0(前

回調査比▲20.0)で小売業だけが上昇している。1月～3月期見通しは全体で▲21.7であり、今回調査実績と同じ数値である。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲7.3で前回調査より5.4ポイント低下した。業種別では小売業▲12.5(前回調査比▲4.2)、製造業0.0(前回調査比▲10.0)、建設業▲20.0(前回調査比▲30.0)、サービス業0.0(前回調査比+12.5)、卸売業0.0(前回調査比±0.0)であった。

〈その他の意見〉

・求人を出しても採用がでず、採用できても短期で辞めてしまうので人材確保に苦戦している。

